

# おの議会だより

No.219

令和4年8月25日

## 何か貢献したい 役に立ちたい

大野市消防団はそんなあなたを  
待っています！  
女性・学生・若者も募集中！



消防団員募集



大野市消防団第六分団（富田地区）  
訓練を積み重ねる  
福井県消防操法大会小型ポンプ操法の部で  
優勝（7月23日開催）



## 主な内容

7月定例会の概要	2・3ページ
一般質問の概要	4～9ページ
常任委員会審査報告	10・11ページ
議案等の各議員表決	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や  
議案等の審議経過及び結果、会  
議録などの議会情報をホームペ  
ージでも掲載しています。  
ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正予算  
の議案

議案第26号

令和4年度大野市一般会計補正予算  
(第2号)

可決

7月  
定例会の概要

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額  
174億1614万円 7億1037万円 181億2651万円

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【保育所管理運営経費】 原油価格高騰の影響により上昇している公立保育所給食食材費について、副食費保護者負担金の増額相当分を補てん	366万円	1億6656万円
【保育所等給食食材費高騰対策事業】 原油価格高騰の影響により上昇している民間保育所等給食食材費について、副食費保護者負担金の増額相当分を補てん	684万円	684万円
【水田麦・大豆産地生産性向上事業補助】 水田麦・大豆の生産性向上のための農業用機械の整備等に対し補助	2048万円	2048万円
【農業生産費高騰対策事業補助】 原油価格や物価高騰の影響を受けた水稲及び経営所得安定対策の対象作物生産者に対し補助	6733万円	6733万円
【大野市版中小企業者等事業継続支援金事業】 コロナ禍で売り上げが減少した市内事業者に、事業継続支援金を給付	6818万円	6818万円
【星空ツーリズム推進事業補助】 観光事業者が行う星空観望モニターツアーの実施に対し補助	740万円	740万円
【消防団員報酬】 消防団員の職務報酬及び災害に係る出場報酬を国が示す標準額に引き上げ	772万円	2375万円
【小中学校給食食材費高騰対策事業補助】 原油価格高騰の影響により上昇している学校給食食材費について、保護者負担金の増額相当分を補てん	1768万円	1768万円
【コミュニティ助成事業補助】 各自治会が行うコミュニティ活動に必要な備品の購入等に対し補助(中挾連合会、平沢区、富田地区、塚原区、猪島区)	870万円	870万円
【体育施設管理運営経費】 真名川憩いの島の野球場グラウンドを改修	2453万円	5339万円
【九頭竜保養の里管理運営経費】 平成の湯の運営を再開するための維持管理を実施	998万円	2938万円
【部活動地域移行推進事業】 令和5年度からの休日における部活動の段階的な地域移行を行うための実践研究を実施	144万円	150万円
【庁内窓口デジタル化推進事業】 庁内と公民館をつなぐリモート窓口を設置するため、Wi-Fi環境等を整備	375万円	375万円
【書かせない窓口推進事業】 異動受付支援システム及び申請書作成支援システムを導入	1631万円	1631万円
【ゼロカーボン推進事業】 市民向けに行う地球温暖化防止対策の普及啓発活動費	405万円	441万円

第428回定例市議会が7月15日から8月4日までの21日間の会期で開催されました。例年は6月定例会ですが、市長選挙があったため、7月定例会になりました。

今回の定例会では、令和4年度一般会計補正予算案、条例の改正案、人事案件など全14議案のほか、市会案1件、陳情2件について審議しました。

審議結果は、11議案のとおりです。

条例の改正等

大野市議会議員及び大野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の

公営に関する条例の一部を改正する条例案  
公職選挙法施行令の一部改正に伴い、公営費の限度額を改正しました。

大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対し、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに普通徴収の納期限(特別徴収の場合は、特別徴収対象年金給付の支払日)が定められている国民健康保険税を減免することとしました。

大野市介護保険条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対し、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに普通徴収の納期限(特別徴収の場合は、特別徴収対象年金給付の支払日)が定められている介護保険料を減免することとしました。



大野市消防団員の定員、  
任免、服務、報酬等に関  
する条例の一部を改正す  
る条例案

職務報酬額と災害に係  
る出場手当額を国が示す  
標準額に引き上げるとも  
に、これまで費用弁償  
として支給していた出場

大野市特定優良賃貸住宅  
の設置及び管理に関する  
条例の一部を改正する条  
例案

特定優良賃貸住宅の供  
給の促進に関する法律施  
行規則の一部改正に伴い、  
特定優良賃貸住宅及び特  
定公共賃貸住宅の入居に  
際し、里子等を同居親族  
として認めることとしま  
した。

## 専決処分された予算の概要

- 議案第35号 令和3年度一般会計補正予算(第11号)  
基金への積立や除雪経費など、5億8928万円を追加
- 議案第36号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)  
新型コロナウイルスワクチン接種事業など、1億3814万円を追加

承認

議案	補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
35号	【地域振興基金積立】 地域振興基金へ積み立て	1億9059万円	3億3629万円
	【除雪経費】 除排雪実績に基づき委託料を増額	1億3000万円	9億9694万円
	【学校施設等整備基金積立】 学校施設等整備基金へ積み立て	1億5000万円	2億5003万円
36号	【住民税非課税世帯への生活応援給付金給付事業】 住民税非課税世帯への臨時特別給付金の給付対象世帯に1世帯当たり1万円を給付	2886万円	2886万円
	【子育て世帯生活支援特別給付金給付事業】 低所得の子育て世帯(非課税世帯等)に児童1人当たり5万円を給付	1180万円	1180万円
	【ひとり親世帯生活支援特別給付金給付事業】 低所得の子育て世帯(ひとり親世帯等)に児童1人当たり5万円を給付	1500万円	1500万円
	【低所得子育て世帯への生活応援給付金給付事業】 低所得の子育て世帯(非課税世帯、ひとり親世帯等)生活支援特別給付金の給付対象世帯に児童1人当たり5000円を給付	240万円	240万円
	【新型コロナウイルスワクチン接種事業】 新型コロナウイルスワクチンの4回目接種等を実施	8008万円	1億5149万円

## その他の議案

### 指定管理者の指定の変更 について

大野市九頭童保養の里  
の現指定管理者の指定期

大野市九頭童保養の里  
の現指定管理者の指定期  
(ぎょう)一式の購入を認

中村広之氏(牛ヶ原)の  
選任を承認しました。

災害対応特殊救急自動車  
売買契約の締結について  
の補欠の委員の選任につ  
いて

手当を出場報酬としまし  
た。

間の終期を令和6年3月  
31日から令和4年8月31  
日に変更しました。

## 人事案件

## 9月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (開会)					
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	常任委員会 (産経環境)	常任委員会 (教育民生)	常任委員会 (総務生活)	
18	19 敬老の日	20	21	22	23 秋分の日	24
		特別委員会 (人口減少対策) (未来へつなぐ まちづくり)				
25	26	27	28	29	30	10/1
	本会議 (閉会)					

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は午前10時を予定しています。人口減少対策特別委員会の開会時間は午前10時、未来へつなぐまちづくり特別委員会の開会時間は午後1時を予定しています。ただし開会前の会議により遅れる場合があります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

(☎0779-64-4830)

# 誇れるまちのかじ取りをどう進めるのか



## 細やかさとしなやかさ、強さを併せ持つ リーダーシップで取り組む

新風会・公明  
はやし  
よりかず  
林 順和 議員



**問** 市長選を通じて、誇れるまち大野市づくりのかじ取りをどう進めるのか意気込みを。

**答** 1万800人を超える方が私の名前を書いていただいたことに対して、光栄に思うとともに責任の重さを感じている。市民から聞いた声を基に、方向性が合致するもの、財源が整ったもの、地元との調整が済んだものは早速、補正予算案に盛り込んでいく。細やかとしなやかさ、強さを併せ持つリーダーシップで取り組んでいく。

**問** 中部縦貫自動車道の県内区間全線開通後の通行料金は。

**答** 国土交通省直轄で整備しており無料である。市として取り組む事業をまとめた高速交通アクセスプログラムを、ユニットキャブ記事に、ユニットキャブ

**問** 市として取り組む事業をまとめた高速交通アクセスプログラムを、ユニットキャブ記事に、ユニットキャブ

**答** 国土交通省直轄で整備しており無料である。市として取り組む事業をまとめた高速交通アクセスプログラムを、ユニットキャブ記事に、ユニットキャブ

**問** 市として取り組む事業をまとめた高速交通アクセスプログラムを、ユニットキャブ記事に、ユニットキャブ

載されていた。宿泊者数の増加に寄与すると考えるが、県との調整は。

**答** 県において民設民営のためのプロポーザル予算を計上しており、民間が進出しやすい条件などを協議している。

**問** 公共施設や公共空間の利活用を市内事業者の稼ぐ力向上につなげていくため、各部署の対応にズレがあつてはならない。市全体の方針は。

**答** 地域経済の好循環につながる取り組みであり、市として利活用による連携を図っていく。

**問** 令和3年度末に商業振興基金を5000万円積み増した理由は。

**答** この基金は商店街が行う事業に補助する財源として取り崩してきた。中部縦貫自動車道の県内全線開通等を控え、商業振興に活用が見込まれることから積み増した。

**問** 市として取り組む事業をまとめた高速交通アクセスプログラムを、ユニットキャブ記事に、ユニットキャブ

一般質問

# 消防の広域化の現況は



## 国・県で推進するが実現に至らず、近隣消防との連携により体制を強化

清風会  
ながた  
まさゆき  
永田 正幸 議員



**問** 市長の政治姿勢について、今回の選挙で訴えてこられた「もっとみんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」6つの方法とは。

**答** 2期目の市政運営に当たっては公約に掲げた「もっとみんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」6つの方法は、「教育・子育ての充実、感染症対策と健康のまちづくり、地域経済の活性化、くらし環境の向上と脱炭素、助け合い支援の地域づくり、行政経営とデジタル化」であり、各政策を前に進めるとともに市民協働のまちづくりを一層進める。

**問** 消防行政について、消防の広域化やデジタル化の現況は。

**答** 国は平成18年に消防組織法を改正して広域化を推進し、県では福井県消防広域化推進計画を策定したが、実現には至らず、近隣消防との連携により体制強化が図られている。

**問** 消防のデジタル化は、国が消防指令業務の共同運用を推進しており、県においては各消防本部職員を委員とする消防指令業務共同運用検討委員会を本年度に設置し協議する。

**問** 救急救助における県の防災ヘリコプター及びドクターヘリコプターの運用状況は。

**答** 本市管内での防災ヘリコプターは山岳救助を含め8件、ドクターヘリコプターは103件。救命率の向上につなげる。

**問** 救急救助における県の防災ヘリコプター及びドクターヘリコプターの運用状況は。

**答** 本市管内での防災ヘリコプターは山岳救助を含め8件、ドクターヘリコプターは103件。救命率の向上につなげる。

**問** 消防団員の人員確保と状況は。

**答** 人口減少、少子・高齢化が進む中、消防団員の確保は喫緊の課題と捉え、併せて消防団組織の在り方について検討し、関係先と協議しながら消防団組織の維持に努める。

**問** 消防団員の人員確保と状況は。

**答** 人口減少、少子・高齢化が進む中、消防団員の確保は喫緊の課題と捉え、併せて消防団組織の在り方について検討し、関係先と協議しながら消防団組織の維持に努める。

**問** 消防団員の人員確保と状況は。

# 赤根川と清滝川の治水対策について、 県への働き掛けは



## 早期改修についての県への要望と取水関係区 説明会への同行

未来おおの

木戸屋八代実  
議員



**問** 大野市が九頭竜川水系で被害を軽減させるために取り組んでいる流域治水の対策はどのようなものか。

**答** 国では、あらゆる関係者が協働して流域全体で被害を軽減させる治水対策である「流域治水」への転換を図っている。

県では、県立大野高校の校庭敷地内において雨水を一時貯留する施設を設置する予定であり、田んぼダムについても推進していくと聞く。

本市では、雨水貯留タンクの設置を行う取り組みをしている。

**問** 赤根川と清滝川について、総合的な治水対策を行うよう、県にどのように働き掛けをしているのか。

**答** 河川改修の早期着手について、本市及び赤根川改修促進期成同盟会から県に要望をしたり、県

の下流部の取水関係区への説明会に同行し同意が得られるよう努めたりしている。

**問** 大野市が担当する治水対策の役割分担は何か。

**答** 田んぼダムについては、田んぼダムにできるかどうかというところの調整役。市の公園などに貯水機能を持たせることなども、今後考えていきたい。

**問** 七間朝市を盛り上げるためにどのような支援を行っているのか。

**答** 朝市出荷組合と七間商店街振興組合で構成する協議会に、七間楽市などを運営する七間大盛會が加わり、連携をしてきている。令和3年度から補助金を増額している。今後の取り組み、方向性などについて、意見交換する場を予定し、必要な対応を検討していく。

# 全天候型の子どもの遊び場は、いつ、 どこに整備するのか



## 令和6年度に、まちなかでの整備を考えている

新風会・公明

伊東由起恵  
議員



**問** 物価高騰に対し、市独自の生活者支援、事業者支援は。

**答** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯へ支援したほか、学校や保育園などの給食食材費高騰に対する支援や、農業者・中小企業に対する産業支援についても必要な対策を盛り込んだ補正予算案を提出した。

**問** 電子割引クーポン「おのの割」は高齢者にとってハードルが高いのでは。

**答** 高齢者等のデジタルの活用は苦手意識を持たれる方に対し、アプリ取得のサポートセンターを毎週土曜日にVioに設置し、対応している。また公民館ではスマホの使い方講座を実施している。

**問** 全天候型の子どもの遊び場については、一日

も早い整備が求められるが、いつ、どこに整備するのか。

**答** 既存の公共施設を有効活用し、令和6年度の整備を目指す。交流や賑わい、生活の利便性を考慮し、まちなかでの整備が適当と考えている。

**問** 放課後の子どもの居場所として、放課後児童クラブと放課後子ども教室があるが、長期休業中の対応が違うことから、早急な対策を望む声がある。市の見解は。

**答** 全市的な対応が求められることや財源、人材の確保など考慮が必要。子どもの放課後の過ごし方の現状やニーズなどについてアンケートを実施し、子ども・子育て会議で意見をいただき方向性を検討していく。

# コロナ禍の中で、どのように高齢者の生きがいがづくりに努めてきたのか



無党派

まつもと  
松本

よしひこ  
嘉彦

議員



## 高齢者の閉じこもりを予防し生きがいがづくりにつながる取り組みをしてきた

**問** コロナ禍の中、どのように高齢者の生きがいがづくりに努めてきたのか。

**答** 地域集落センター等で住民が主体となって開催する高齢者ふれあいサロンや、温浴施設を利用して交流と介護予防のための教室を行うお出かけほっとサロン、介護が必要となる一歩手前のフレイルの兆候に早期に気づき、状態の悪化防止を目的としたフレイル予防教室など、高齢者の閉じこもりを予防し生きがいがづくりにつながる取り組みを行ってきた。

**問** これらの取り組みは、コロナ禍であっても感染対策を徹底し可能な限り継続されている。また、高齢者ふれあいサロンについては、サロン代表者に閉じこもりによる健康二次被害の情報提供を行ったほか、感染拡大によりサロンを休止した期間には、個別訪問、電話による安否確認や相談等を自主的に行ってもらっている。

**答** このような活動を通して、高齢者の社会参加が生きがいがづくりにつながるといふ理解が深まり、サロン代表者からは「やりがいがある」といった声や、また参加している高齢者からは「再開を心待ちにしていた」といった声があり、生きがいがづくりに効果があったと考えている。

# 高速交通アクションプログラムで人口が増えるのか



双葉会

たかおか  
高岡

かずゆき  
和行

議員



## 今後の人口推計では増える見込みがない

**問** 市長の政治姿勢について問う。高速交通アクションプログラムに沿ったまちづくりの進捗（しんちよく）はどうか。

**答** 道の駅「越前おおの荒島の郷」の来場者数は、年間目標を上回る約75万人に達している。

**問** 北陸新幹線福井・敦賀が開業、中部縦貫自動車道県内全線が開通し、高速交通アクションプログラムで人口が増えるのか。

**答** 今回の支援は一時的なものだが、前向きなところにつながればと思う。

**問** 高速交通アクションプログラムは、人口を増やすことが最大の目的であると理解しているが。

**答** 少しでも市内で経済が回るようにし、人口はできる限り減らさない。

**問** 管内の農業をどのように捉えているのか。

**答** 販売農家の就業人口は、平成17年の3304人から令和2年には985人までに減少し、高齢化率も上昇している。今後持続的な農業を営んでいくためには、もうかる農業を目指す必要がある。

**問** 今回補正予算に計上されている農業生産費高騰対策事業補助の約6000万円は、本当に本市の農業者のもうかる農業、稼げる農業につながるのか。

**答** 今回の支援は一時的なものだが、前向きなところにつながればと思う。

**問** 小中学校の再編に向けての進捗はどうか。

**答** 児童・生徒の学校生活や学習環境を整えるために校舎を改修し、新しい学び舎づくりを進める。

**問** 学校の改修費27億円の財源は何か。

**答** 文部科学省と国土交通省の補助金と起債である。

一般質問

# 人口減少、離農者が増える中での農地、農業施設の維持管理について



清風会

ひろた

憲徳

議員



## 土地改良事業によるほ場の大区画化や用水の パイプライン化など、計画的な基盤整備が必要

- 問** 人口減少、離農者が増える中での農地、農業施設の維持管理について。
- 答** 本市の農業振興地域における農用地区域のほ場整備率は95・2割となつているが、1畝以上の大区画整備率は7・5割と低い水準である。
- 基盤整備後40年以上が経過した農業施設では、老朽化により維持管理経費が増加している。
- こうした状況の中、市内の土地改良区では県営土地改良事業を活用し、大規模経営を可能とする整備を進め、将来の農業生産の担い手確保や育成、農地集約に向けて取り組んでいる。
- 本市において、次世代技術を生かし多様な担い手の活躍で農業を引き継いでいくためには、スマート農業の導入による経営の効率化が不可欠であり、土地改良事業によるほ場の大区画化や用水のパイプライン化など、計画的な基盤整備が必要である。今後も土地改良事業の円滑な推進を支援していく。
- 問** 補正予算の農業生産費高騰対策事業補助は、どのような予算内容か。
- 答** 作物ごとの生産費高騰分を基に、10<sup>万円</sup>当たりの補助単価としており、具体的には水稲は2000円、ムギは1400円、ソバは400円、大豆は1000円、サトイモやネギなどの特産作物をはじめとしたその他の作物は2000円を交付する。
- 交付の時期は作付面積の確定後とし、水稲とムギは11月下旬から12月上旬を、その他の作物は1月下旬を予定。

# 中学校再編に向けた準備委員会の予定は



新風会・公明

しらさき

貴之

議員



## 本年度中に再編に関する課題の協議を終え、 来年度には再編に向けた準備を整えていく

- 問** 指定管理者制度について、第三者モニタリングが必要ではないか。
- 答** 現在設置の選定委員会において、評価も行う仕組みを検討し、効率的で効果的な管理運営が図られるよう努めていく。
- 問** 公共施設再編計画編で、施設の方向性が廃止とされている施設は、どのような状況にあるのか。
- 答** 宝慶寺いこいの森については、県に対し施設の処分に関する届け出を行っており、今後譲渡先となる事業者の選定を行う。下小池公衆トイレについては、本年度中に解体、旧奥越農業共済事務所については、令和5年度については、令和5年度の解体に向け、本年度は解体の実施設計を行う。その他の施設も、地区や土地所有者との交渉や施設の売却など、検討や手続を進めていく。
- 問** 中学校再編前に指定学校の変更申請があった場合、どのように対応していくのか。
- 答** 再編準備に当たつての方針の一つに、各学校の歴史と伝統、文化を大切にすることを常に意識しながら進めるとあり、その方針に基づき、学校再編のための新たな指定学校変更基準は設けず、再編までは地元の学校に進学し、誇りと愛着を持つて充実した学校生活を送っていただきたい。
- 問** 中学校再編に向けた準備委員会の本年度の予定及び来年度の予定はどのようなものか。
- 答** 本年度中に再編に関する課題の協議を終え、来年度には再編に向けた準備を整えていくとともに、準備を進める中で出てくる新たな課題の解決に向け協議を行う。

# 低炭素社会の実現は、価値あるものだとの確信を示せることではないか



日本共産党大野市議員  
さかえ まさお  
**榮 正夫** 議員



自然や水が豊かなこの地域にずっと住み続けられることの大切さをうたっていきたい

**問** 市長選挙も終わり、石山市政の2期目が開始された。

**答** 市民の期待も高い中で選挙戦を通じての教訓をどのように今後の市政運営に生かされるのか。

**問** 市民の皆さんの多くの支持をいただき公約に掲げた「もっとみんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」6つの方法の「教育・子育ての充実、感染症対策と健康のまちづくり、地域経済の活性化、くらし環境の向上と脱炭素、助け合い支え合いの地域づくり、行政経営のデジタル化」や第六次大野市総合計画に基づきできるものから早急に取り組む。

**問** 第三期大野市環境基本計画の第三章の2「低炭素社会の実現」に対する危機意識の位置付けは。

**答** 近年、地球温暖化が原因と見られる気象変動により、世界規模で自然災害が発生している。COP26では、産業革命前と比較して気温上昇を1.5℃に抑える重要性が強調された。国においては2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、2030年度までに温室効果ガス排出量の46%削減を目標とし、さらに50%削減の高みに向けて挑戦することが示された。

**問** 大切なことは、脱炭素社会の実現とは、本市にとっても、地域住民の生活にとっても、価値あるものだとの確信を示せることではないか。

**答** 自然や水が豊かなこの地域にずっと住み続けられることの大切さをうたっていきたい。

一般質問

# インボイス制度の中止を国に要望するよう求める



日本共産党大野市議員  
のむら まさお  
**野村 勝人** 議員



国の制度であるため、周知・広報に努めることが責務

**問** 75歳以上の医療費窓口負担2倍化の中止を求めるべきでは。

**答** 75歳以上の窓口負担は現在、原則1割、現役並みの所得がある人は3割。今でも通院の頻度が高い高齢者に重くのしかかっている。政府は余裕のある人を対象にしたと主張しているが、市民からは「医者にかかれなくなる」などの声を聞いている。若い世代のためだというのが、労働者1人当たりの軽減される保険料は、月平均33円にすぎない。高齢者と現役世代の負担を軽減するには、歴代政権が減らしてきた国庫負担を元に戻すことが何より必要。

**問** 団塊の世代が後期高齢者になり始めることに伴う医療費の増大と支え手である現役世代の人口減少に伴う1人当たりの負担増が見込まれている。

**答** 団塊の世代が後期高齢者になり始めることに伴う医療費の増大と支え手である現役世代の人口減少に伴う1人当たりの負担増が見込まれている。負担能力を有する高齢者に対し一定の負担を求め、現役世代の負担を抑える今回の見直しは、将来的に持続可能な国民皆保険制度に必要なことと認識している。

**問** 国民を苦しめるインボイス制度。免税業者に取り引きを縮小・廃業するか、課税登録するかを迫る制度で、課税業者となれば、消費税分を受け取っていないとしても、売り上げの消費税相当額から仕入れや経費にかかった消費税を差し引いた残額を、赤字でも納付しなければならぬ。仕入れや経費で負担した消費税分を転嫁できなければ、利益が減少する。このような制度は中止を求めべきでは。

**答** 国会における議論等を経て法整備がなされたものであり、周知・広報に努めることが責務である。



# 市長の考える地下水マネジメントとは



## 地下水位の低下や地下水障害リスクに対する 予防保全対策に取り組む

**問** 市長の考える本市の地下水マネジメントとは。

**答** 地下水マネジメントは、市民生活の安心や安定に大きく関わる市の重要な責務であり、地下水位の急激な低下や地下水障害リスクに対する予防保全対策に重点的に取り組む。

**問** 昨年の清滝川と木瓜川の濁水は完全に地下水マネジメントの欠如である。8カ月が過ぎたが、現在の両河川の生態系はどうなっているのか。

**答** 非常に小さい個体を確認できている。  
**問** 大量の魚が死んでいますが、調査をしないとわからないのではないか。  
**答** 市のアドバイザーと清滝川の水生生物の調査を計画している。  
**問** 第426回定例会で河川と地下水の関係について、市長は極めて関心

があるので取り組むと答弁。現在の状況は。

**答** 地下水動態を大学等の研究者の方々に研究を行っていただき、3月に研究結果の報告会を開催した。

**問** 報告会は以前から行っていた研究の報告である。昨年の水無川は少雨だけでなく真名川頭首工の工事も一因と報道発表があった。そうであれば人災である。地下水と河川水に関する今回の事案について、第三者委員会を設置すべきだと思うが。

**答** 大野市水循環推進協議会が第三者委員会の役割を果たしている。



水無川となった木瓜川の  
コイの死骸

※水無川とは、水が無くなった川のこと

無党派

梅林

厚子

議員



## 委員会視察 レポート

### ▼議会運営委員会

7月4日・5日に石川県津幡町・輪島市、富山県高岡市の各市町議会を視察いたしました。

津幡町議会・輪島市議会では予算決算委員会が設置されていることから、予算・決算の審査手法等について詳しくお聞きしました。

また、津幡町議会の通

年議会制、輪島市議会の公共施設等調査特別委員会、高岡市議会・津幡町議会のタブレット端末の運用状況などについても伺ってきました。



## 有南小6年生が議場見学 電子採決を体験

6月21日、有終南小学校6年生49人が、社会科の「わたしたちの生活と政治」の学習で、議場や庁舎などの見学に訪れました。

2班に分かれて議場で議会の仕組みを学び、電子採決を体験。また、庁舎内も見学しました。

児童からは、「議会では、身近な問題を話し合い、条例や予算を決めていることが分かりました」、「やっぱり選挙は大切です。選挙に立候補できる年になったら積極的に参加して主役になろうと思います」などの感想が寄せられました。



## ○委員会も傍聴できます！

常任委員会及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出ください。

なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

▽産経環境

(白崎委員長、廣瀬副委員長  
梅林、永田、松田、榮)

農業者と中小事業者への支援

◎理事者の説明

新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ情勢など世界規模での要因により、原油・原材料価格が高騰し、売上原価等が増加した市内農業者や小売業者を支援するため、補正予算を計上した。

◎委員の意見

諸物価高騰の中、営農継続に頑張っている農業者への支援を求める「今後の水田農業対策に関する要請書」と事業継続に奮闘している中小事業者への支援を求める「経済情勢の変化に伴う中小・小規模事業者支援に関する緊急要望書」が市議会

に提出されている。本市の状況を鑑み、速やかな支援につなげられたい。

稼ぐ力応援事業

◎理事者の説明

人材育成事業補助、店舗形成事業補助など8つの事業を実施するものである。事業の一つである結の故郷ビジネスサポート事業において、ビッグデータ分析システムを導入することで観光客等の行動分析ができ、市内事業者への客観的な事業助言が可能になる。

◎委員の意見

ビッグデータは、ブランド発信、観光誘客、都市計画、防災対策など多岐に活用可能とのことである。市全体として有効に活用されたい。

脱炭素ビジョンの策定

◎理事者の説明

本市における2050

年までのカーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの導入目標などを定める脱炭素ビジョンは、12月に案を作成し、来年1月にパブリックコメントを実施する予定。

◎委員の意見

本市の考えや思いをしつかりと反映したビジョンとされたい。

所管調査

本年4月から営業を休止している九頭竜保養の里において、現地確認とヒアリングを実施した。そのほか、春日三丁目



九頭竜保養の里の調査

下区から市道認定の要望が出ている(仮称)春日三丁目9号線について現地を確認した。

▽教育民生

(林委員長、川端副委員長、木戸屋、高田、高岡)

長期休業中の子どもの居場所づくり

◎理事者の説明

居場所づくりについて、国の補助要件を満たすことや、市街地と郊外での放課後の居場所に関する格差の解消など、検討すべき課題が多くある。

◎委員の意見

保護者が強く求めている事柄で、市長の選挙公約でもある。全天候型の遊び場整備とともに、できるだけ早い時期に結果を出すよう求める。

おおのヘルスウォーキングプログラム

◎理事者の説明

7月から1630人が

参加しプログラムがスタートした。昨年度は参加者の1日平均歩数や外出頻度の増加などの成果があった。医療費の削減効果については、令和5年度まで取り組んだ後、医療費や介護給付費について検証を行う。

◎委員の意見

成果の検証が数字として現れるには、ある程度の期間が必要であることは理解できるが、事業委託先と共に、検証やチェックを随時行い、各種施策に反映していきたい。

部活動地域移行推進事業

◎理事者の説明

休日の運動部活動の地域移行に向けては、軟式野球・サッカー・バスケットボールの3種目をモデルとして、関係スポーツ競技団体に委託し実践検証を行う。

◎委員の意見

地域で指導を受ける子どもたちにとって充実した活動環境となるよう、受託する地域スポーツ団

体・中学校・行政間で課題を共有して、実効性のある検証成果が得られるよう取り組まれない。また、地域の指導者と

果については、令和5年度まで取り組んだ後、医療費や介護給付費について検証を行う。

和泉診療所の医療体制

◎理事者の説明

中部縦貫自動車道の(仮称)和泉ICの令和5年秋の開通時期に合わせ、歯科診療を継続する。福井県によるへき地医療オンライン診療の実証がスタートした。

◎委員の意見

持ち運びのできる携帯用超音波画像診断装置(ポケットエコー)等の導入を含め、和泉診療所の医療体制を市民に周知し、安心安全につながるよう有効活用されたい。



(廣田委員長、伊東副委員長  
松本、堀田、野村、畑中)

庁内窓口デジタル化推進事業

◎理事者の説明

各公民館のWiFi環境を整備し、市役所とリモート接続することで、住民は市役所まで出向かなくても、公民館から市担当課の職員とリモート相談が行えるようになる。相談しながら作成した書類などは公民館に預け、公民館職員が市担当課へ提出する。

◎委員の意見

住民や公民館職員に混乱を来すことなく、円滑に運用されたい。事業実施に当たっては既にWiFi環境が整備されている和泉公民館において試行すること、公民館でできること・できないこと、住民への周知徹底、公民館ごとの段階的な導入などを求める。

書かせない窓口推進事業  
◎理事者の説明

市役所窓口へ申請に来られた方から身分証明書などの提示を求め、それをスキヤニングすることで氏名・住所などが自動入力されるシステムを導入し、窓口での記入の手間や受付時間を削減することができるとのこと。

◎委員の意見

システムの導入・運用に当たっては、庁内での情報共有と連携を図り、有効に活用されたい。将来的に窓口の人員削減や公民館での導入につなげることを検討されたい。

地域コミュニティの維持  
◎委員の意見

コロナ禍において、各地区ではスポーツや文化的なイベントが開催できないことが常態化している。これまでイベントを通して保たれていた地区内での住民間交流がめっきりとなされなくなり、地域コミュニティが崩壊の危機に陥っている。

各地区において、市が積極的に仕掛けづくりを行い、アフターコロナを見据えたコミュニティ維持の具体的な取り組みにつなげられたい。


COCONOアートプレイス  
◎委員の意見

コロナ禍にあつて、COCONOアートプレイスの観覧者数を増やすには、市民に愛され、リピーターとして何度も訪れてもらえる施設になるべきではないか。

目標観覧者数の達成につなげるためにも、しっかりと方向を見定めて取り組まれたい。

**マイナンバーカードは  
早めの申請を**

マイナポイントを受け取るために必要なマイナンバーカードの申請期限は、**9月末まで**となりますので、早めの申請がおすすめです。



令和4年7月第428回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認された議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名
26	可決	令和4年度大野市一般会計補正予算(第2号)案	33	可決	指定管理者の指定の変更について
27	可決	令和4年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)案	34	可決	災害対応特殊救急自動車売買契約の締結について
28	可決	大野市議会議員及び大野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例案	35	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度大野市一般会計補正予算(第11号))
29	可決	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	36	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度大野市一般会計補正予算(第1号))
30	可決	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	37	承認	専決処分の承認を求めることについて(大野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)
31	可決	大野市特定優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	38	承認	専決処分の承認を求めることについて(大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
32	可決	大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例案	39	承認	固定資産評価審査委員会の補欠の委員の選任について

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等	議員名(議席番号順)	議決結果	廣	木	林	白	伊	松	廣	堀	高	野	梅	永	松	川	高	畑	榮
			瀬	戸	順	崎	東	本	田	田	田	村	林	田	端	岡	中	正	
市会案 4 保育所等の最低基準(職員配置・設備の面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書について	廣瀬浩司	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	/	×	○	○	○
陳情 3 「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	廣瀬浩司	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	否	否	/	否	否	否	賛
陳情 4 保育所等の最低基準(職員配置・施設設備の基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	廣瀬浩司	趣旨採択	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	否	賛	賛

議長(松田元栄)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。陳情4号は趣旨採択とすることへの「賛」「否」。

# 特別委員会 報告

## ▼人口減少対策特別委員会

(堀田委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、林、白崎、永田、榮)

## 大野市人口ビジョン・第二期大野市総合戦略の進捗(しんちよく)状況と今後の人口減少対策

◎理事者の説明  
人口増加や維持に向け

た方策と、人口が減っても持続可能な地域づくりを進めていく。

### ◎委員の意見

各施策が本市の実情に合致し、真に効果が期待できるものであるかをしっかりと見極め検証されたい。人口減少対策における課題や事業者等のニーズを把握し、それらに即した施策の推進に努められたい。

### 新しいひとの流れをつくる

◎理事者の説明  
移住相談等に関係する



### ◎理事者の説明

トンネル10本のうち、荒島第一トンネル、下山トンネル、和泉トンネルの3本が貫通した。橋りょうについては、大野IC付近から(仮称)和泉IC付近までで、8本の橋りょうの上部工が完成し、2本の橋りょうの橋げたがつながった。

### ◎委員の意見

一日も早い開通を望むものではあるが、工事での事故が発生しないための安全対策を講じることにたいして実施主体に伝えられたい。

### ◎委員の意見

移住した方に住み続けていただくためには公民館や地域の方のサポートが大切である。今後も移住・定住者への支援と情報提供に努められたい。

## ▼未来へつなぐまちづくり特別委員会

(川端委員長、梅林副委員長、伊東、松本、廣田、高田、野村、畑中)

## 中部縦貫自動車道大野油坂道路の工事進捗状況

### ◎委員の意見

北陸電力大野水力センター(中挾地係)から国道157号大野バイパス(中保地係)までの整備については、本年度は国道157号大野バイパス接続部付近の工事、用地買収等が実施される予定。

### ◎委員の意見

これら2本の道路整備は、市民の利便性・安全性の向上が期待される。早期整備が可能となるよう、県への要望と最大限の協力を求める。

### 所管調査

一般国道158号境寺・計石バイパスの所管調査を実施し、県の福井土木事務所職員から説明を受け、工事の状況等を確認した。



## 編集後記

令和4年7月8日、民主主義の根幹である参議院議員通常選挙中に起きた凶行により、安倍晋三元首相がお亡くなりになり一カ月が過ぎました。

ロシアによるウクライナ侵攻も同様ですが、主義や主張の違いを暴力で排除する愚行を許してはなりません。お亡くなりなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、石山市長が2期目の当選をされ、アフターコロナを見据えた持続可能な市政運営に向けたかじ取りを今定例会の補正予算にて示されました。

私たち議会も議論を通し審査を行いましたので、議会だよりを読み興味を持っていただけると幸いです。(座長 廣田 憲徳)

### 議会だより編集委員会

- 委員 廣田 憲徳  
木戸屋八代実  
林 順和  
野村 勝人  
高岡 和行

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。

## 畑中章男議員 特別表彰

5月25日に、畑中章男議員が全国市議会議長の議員35年以上の特別表彰を受賞されました。

